

豊岡偉人伝 10

私たちの暮らしの発展に尽くし、近代日本の礎を築いた人、スポーツ・芸術の普及発展に心血を注いだ人など、豊岡にはさまざまな先人たちの心が息づいています。

その先人たちに学び、志を引き継ぎましょう。

《問合せ》文化振興課 ☎23-1160

慈愛と善意に満ちた開拓者 和田完二

和田完二

(1896~1968)

竹野町松本出身

丸善石油(現コスモ石油)社長

- | | | |
|-------|-----------------------------------|---|
| 1896年 | 竹野町松本に生まれる |  |
| 1902年 | 6歳 松本小学校入学 | |
| 1908年 | 12歳 豊岡中学校入学 | |
| 1913年 | 17歳 豊岡中学校卒業
後養子となり舞鶴へ | |
| 1923年 | 27歳 原田商会を設立する | |
| 1930年 | 34歳 丸善鉱油へ入社 | |
| 1933年 | 37歳 (丸善鉱油が丸善石油に社名変更) | |
| 1941年 | 45歳 (太平洋戦争勃発) | |
| 1945年 | 49歳 (終戦)翌年同志と共に復員 | |
| 1947年 | 51歳 丸善石油を退社し、自ら会社設立 | |
| 1949年 | 53歳 同志と共に丸善石油へ復帰 | |
| 1952年 | 56歳 熱海にて発病(左半身不随となる)
丸善石油社長に就任 | |
| 1954年 | 58歳 社憲発表 | |
| 1957年 | 61歳 丸善軽質油の大量輸出成功 | |
| 1959年 | 63歳 (中竹野小学校竣工) | |
| 1960年 | 64歳 丸善石油事業団体設立。丸善石油学院創設 | |
| 1963年 | 67歳 藍綬褒章受章 | |
| 1968年 | 72歳 逝去 | |
| 1986年 | [丸善石油が大協石油と対等合併し(株)コスモ石油となる] | |

豊岡藩士の父の下に生まれ、小・中学校を竹野の地で過ごしました。生活が苦しかったため、中学校卒業後養子となりましたが、「自分で人生を切り拓く」と一念発起し南満州鉄道に入社しました。その後、当時最先端の業界であった石油会社(丸善石油)に転職し、手腕と人望を買われて社長を務めました。利益をさまざまな形で社会に還元するなど、慈愛に満ちた人生を歩み72歳で逝去しました。



▲竹野小学校にある石碑

丸善石油に入社

南満州鉄道にいた経験を買われ、大陸における石油販路の開拓を任されました。満州事変の勃発などによる需要の拡大も手伝って、販路の拡張を成功させるなど手腕を発揮しました。

終戦を迎えると立場は一変し、入社以来積み上げてきた会社の財産や私財を全て失うことになりました。失意のまま帰国後、大陸で苦楽を共にした同志が会社の方針で退社に追いやられたことに憤慨し、自身も辞職しました。

その後、同志と共に会社を設立しましたが、大陸での石油販売の実績から、請われて丸善石油に復帰しました。このとき、20数名の同志も一緒に復帰を条件として認めさせたことなどは、人情味あふれる人柄をよく物語っています。

丸善石油の社長に就任

1952年、業績が悪化していた丸善石油を立て直すべく社長に就任します。このとき病に倒れ、左半身不随となったにも関わらず社員に請われて社長に就任したことは、和田の人望の高さを表しています。

就任後、「会社の発展は社会の福祉に寄与し得るものでなければならない」「和と良心をもって仕事に専念すること」など十章からなる社憲(会社の憲法)を制定して社員の一致団結を鼓舞し、1957年には軽質油の大量輸出を成功させるなど、丸善石油発展の基礎を確立しました。

慈愛と善意の人

会社の利益の一部を社会に還元するという考え方の先駆者であった和田は、「丸善石油文化事業団」を発足させ、文化財保護・生活困窮者救済・災害援助などの事業を推進しました。

地元への愛も深く、1959年には当時の但馬では珍しかった鉄筋コンクリート造りの中竹野小学校校舎、竹野小学校校舎および体育館の建設などにも多額の寄付をしました。「人生に夢を持って、若人よ開拓者たれ」という和田のメッセージが竹野小学校と中竹野小学校の石碑に刻まれています。



▲和田からの寄付で建設された中竹野小学校

●発行／豊岡市
☎07961231111
FAX2311124
●編集／政策調整部秘書広報課

〒668-8666
兵庫県豊岡市中央町2番4号
URL http://www.city.toyooka.lg.jp

(総合支所)
・竹野 ☎4711111
・石原 ☎5231111
・城崎 ☎54423210001
・日高 ☎54423210001
・但東 ☎54423210001